

**投影用**

令和5年5月31日(水)

地域計画の策定に向けた先進的な地域とのWEB意見交換会

# どうする地域計画の策定！

— 市町村との協議・相談等から  
見えた地域計画策定の進め方 —

地方考夢(こうむ)員®研究所長  
(一社)全国農業会議所専門相談員

澤 畑 佳 夫

無断での録音  
・転用・複写は  
禁じます

実質化した「人・農地プラン」策定の最大のポイントは

「**徹底**した話し合い」だったのですが・・・

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、座談会(説明会)が開催出

来ず、プランは完成したが地域(集落)での「**合意形成は?**」

また、プランを考える(今後の地域計画含む)に当たって、その範囲を

広く(旧市町村・中学校区等)すれば、策定数は減るが**内容は全体的にボヤケル**

狭く(小学校区、大字、集落等)すれば、ある程度内容は明確になるが**策定に時間がかかる**

そしてプランの完成が条件の補助金もある・あった・・・

↳ 市町村の担当者は相当なご苦勞が・・・

正直 **取りあえず** 作った、というのが多いように感じる

# 地域計画



何の 何についての 地域計画ですか？

地域計画 → ①地域の総合的計画

人・農地プランのことでは？

②地域の分野別計画

【福祉、環境、防災、農業計画？】

今回の地域計画は**農地利用地域計画**と説明した方が  
皆さんにはわかりやすいのではないか(私見)

→ **農地利用の未来設計図**

# 地域計画 = 実質化された人・農地プラン + 目標地図

## 実質化された人・農地プラン

【地域(集落)農業の未来設計図】

- 担い手対策
- 基盤整備
- 農地バンクの活用
- 販路拡大
- 六次産業化 等

• 農地の集積・集約

より具現化するため

農地の未来設計図

目標地図

農地利用地域計画

今年度を含めて2年間は、  
特に集中して  
取り組む

# 5つの合意形成

⑤地域での合意形成

④認定農業者等との合意形成

③農委・最適化推進委員との合意形成

②市町村内外の関係機関・団体等との合意形成  
(例)県:農業経営基盤強化促進基本方針

①庁内の合意形成 (例)市町村:農業経営基盤強化促進基本構想

再  
確  
認

基礎調査

地権者・耕作者等への利用意向調査等



達成度

現在

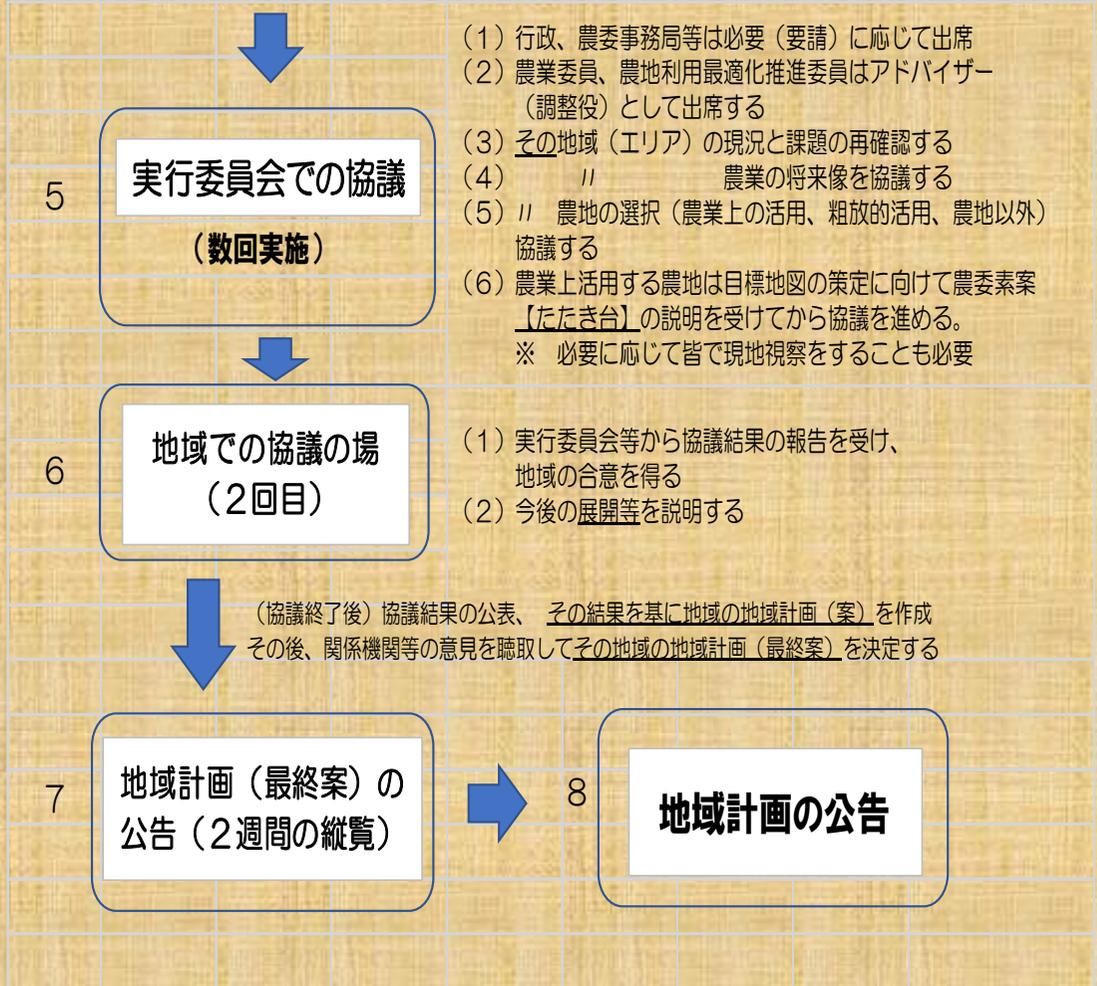
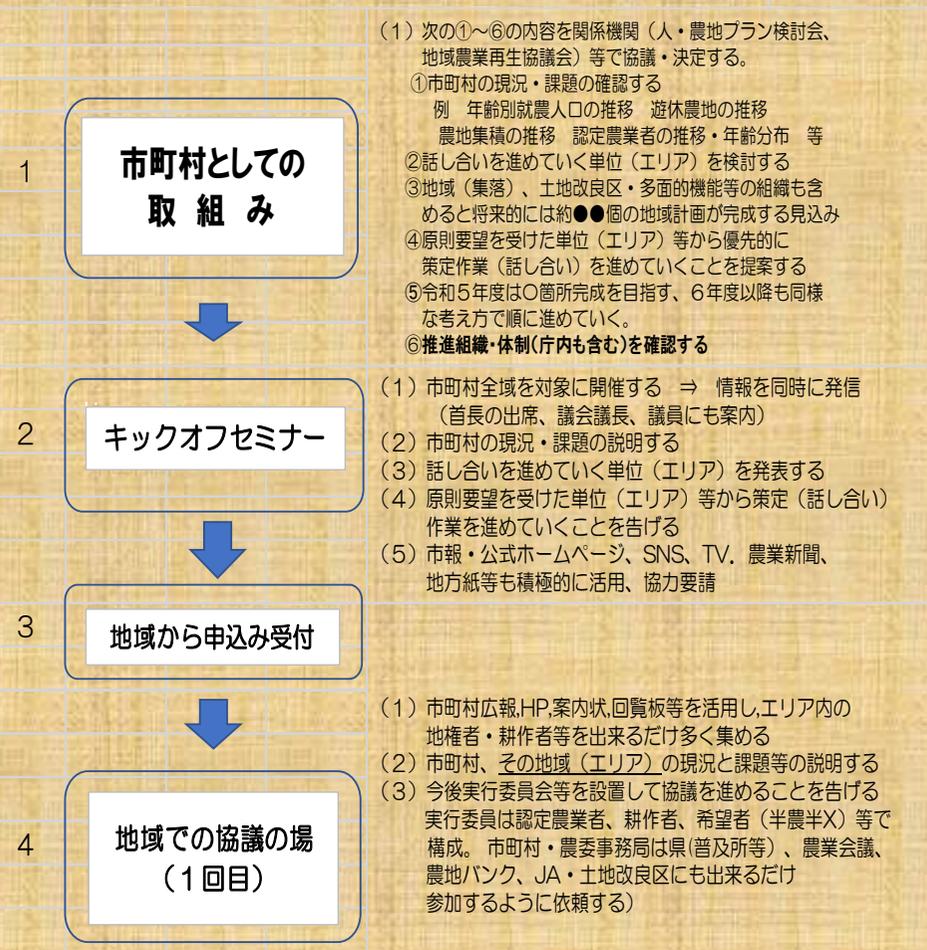
時間 →

別添資料

令和 5 年 5 月 31 日

(一社) 全国農業会議所  
専門相談員 澤畑 佳夫

地域計画(農地活用)策定進め方の一例



皆さんのまちを、  
より元気にするのは

**「皆さん」**です

**一緒に**頑張っていきましょう！

ご清聴ありがとうございました



# 講師： 澤畑 佳夫（さわはた よしお）



昭和33年2月生，元茨城県東海村農業委員会事務局長（平成28・29年度）。1年間の再任用職員も経験し，平成31年3月末に退職。事務局長時に全農地を対象とした5年後の農地利用意向調査やファシリテーションを活用した農業集落座談会等を企画・実施し，その結果を基に農地中間管理事業を活用した大幅な農地集積等を行った。その手法や考え方は，これからの農地集積・集約，遊休農地の発生防止，解消等の先進事例として

全国から注視されてきた。現在，農業分野をはじめ行政・団体・企業等も対象に現場出身者ならではの目線で「初めての方でも分かり易い」講演や研修を行っている。その受講者はこれまでに「約2万人」、受講後のアンケートでは満足度が常に90%を超えている。「農業を通じたまちづくり」「住民（子どもを含む）と行政の協働によるまちづくり」を提唱しながら，参加者の思いをカタチに出来る話し合い（合意形成）を目指し，日々多忙な毎日を送っている。

Webでの研修にも対応中 【モットー：過去の実績よりも，今，何が出来るか！！】

現職：地方考夢員®研究所長 （一社）全国農業会議所専門相談員（令和元年度からの委嘱）

総務省地域力創造アドバイザー（令和4年度から）

（一社）ソトコト（ソーシャル&エコ・マガジン）流域生活研究所長

（一社）MFA（会議ファシリテーター普及協会）公認ファシリテーター

**【問合せ先】電話090-4948-3575 E-mail s-gonta@ozzio.jp**